

1 事業概要

事務事業名 緊急通報装置・火災警報器設置事業		課名	長寿支援課	事業No.	93	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画		
法令・例規等			飯田市緊急通報システム運営事業実施要綱			
			飯田市高齢者等火災警報器設置事業実施要綱			
事業目的	対象	一人暮らし高齢者、要支援又は要介護者がいる高齢者世帯				
	意図	通報により緊急時に支援を求めることができるため、独居高齢者等が安全に暮らせる。火災警報器の設置により、火災の発生を本人及び近隣に知らせ、地域で支え合う体制を整える。				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・緊急通報装置設置事業では、本体とペンダント型スイッチを設置しました。急病等の緊急時にボタンを押すと受信センターが受信し、あらかじめ指定した近隣の協力が員が駆け付ける等の対応を行います。 ・火災警報器設置事業では、機器を給付・設置することにより、安心して在宅生活が継続できるようにしました。		緊急通報体制整備事業				4,154	
			火災警報器設置事業				105	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	緊急通報装置設置世帯件数 (既存)	件	262	241	225			
	火災警報器設置世帯件数 (新規)	件	7	3	5			
30年度 決算 (千円)	予算額	5,496	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	4,259	(そ) 緊急通報システム利用者負担金 916千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 高齢者福祉基金利子 26千円				
		県支出金	0	(そ) 地域福祉基金利子 794千円				
		地方債	0					
		その他	1,736					
一般財源	2,523							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	4	14	9	5,249	4,154	緊急通報装置設置事業費
2	1	3	1	4	14	10	247	105	火災警報器設置事業費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・緊急通報装置設置事業及び火災警報器設置事業は独居老人及び老人のみの世帯の安全を確保する上で効果の高い事業と考えます。緊急通報装置は設置者の施設入所や死亡により減少する一方で、新規設置者が少ない現状から総設置数は減少傾向にあります。このため、緊急通報装置の設置が必要と思われる方への事業周知が必要と考えます。
上記の課題解決のための有効策	・制度周知のため民生児童委員への説明を行っていきます。
次年度に向けての取り組み	・緊急通報装置設置事業及び火災警報器設置事業の運用を通し安全に暮らせる体制を整備していきます。